



【テクニカル&ヒューマン&コンセプチュアル】スキル／ 半日研修

New

コスト削減・効率化・成果アップが進む！

業務改善に効く 「8つのフレームワーク」

➤ 本研修の概要とねらい

- ①業務改善に着手する前に、陥りやすい「ワナ」を知る。
- ②改善を効果的に進める「ワザ」（フレームワーク）を知る。
※フレームワークとは「モレなくダブリなく」思考するための枠組のことです。
当研修では、業務改善に効く代表的な8つのフレームワークをご紹介します。
- ③最新テクノロジー（AIやRPA等）を活用した改善事例を知る。
- ④改善を成功させるための実践的ポイントを学ぶ。

➤ 主なコンテンツ

陥りやすいワナ（廃止/方向転換すべき業務を改善してしまう他）、目的に応じたフレームワークの使い分け（目標を設定し結果を振り返る場合、業務の状態を可視化したい場合、具体の改善策を考える場合）、威力抜群の最新テクノロジー（職員30人で50時間かかっていた作業が数秒で完了等）、「改善」とはそもそも何か？ など（詳細は裏面カリキュラム案をご参照ください）

➤ 演習/実習の内容

- ・各コンテンツに沿った個人&グループワーク

➤ 受講対象(推奨)

- ・全職員

➤ 講師からの一言

近時、「働き方改革」「ワークライフバランス」「人口減少社会での持続可能性」といった言葉が聞かれない日はありません。そのような状況にあって、最小の時間・労力で最大の効果を目指す「業務改善」は不可欠であり、改善を正しく進めるための知識やノウハウの習得は、自治体職員にとって極めて重要です。にもかかわらず、実際の現場では「とりあえず出来るところから改善をしよう」と闇雲に着手し、改善のゴールを見失ったり、方法論を誤って、徒労に終わる事例が後を絶ちません。職員も、お役立ち相手（住民等）も、ともに幸せになれるように、「改善とはそもそも何か」「着実に成果をあげる手法は何か」を、一緒に学習しましょう。



一般社団法人 日本経営協会講師
豊島英明(とよしまひであき)

1988年度神戸市役所入庁。住宅局(経理)、市長室(報道・ラジオ番組)、神戸港埠頭公社(経理・企業誘致)、行財政局(経営品質・行政評価)、北区役所まちづくり推進課長、職員研修所長、市長室国際課長、みなど総局企業誘致担当部長を経て、2018年度早期退職。

自ら講師となり自治体に経営品質の考え方を普及するため起業し、合同会社創発研修ラボ豊島屋を2019年設立(経営品質協議会認定セルフアッセサー資格取得)。神戸学院大学客員教授、早稲田大学招聘研究員。

著書に、『行政経営改革入門』『政策評価手法』『自治体バランス・スコアカード』『自治体職員がみたイギリス』『行政の質を高める8つの基準』など。

神戸市在職中の講師歴として、同志社大学社会人大学院非常勤講師、全国自治体・民間企業など多数。

【出講実績】

大阪府市町村振興協会、滋賀県市町村職員研修センター、和歌山県市町村職員研修協議会、香川県市町村振興協会、徳島県自治研修センター、徳島県、高知県、京都市、堺市、和歌山市、倉敷市、福山市、丸亀市、南丹市、斑鳩町、株式会社OMこうべ(神戸市外郭団体)

コスト削減・効率化・成果アップが進む！

業務改善に効く「8つのフレームワーク」

－半日研修カリキュラム案－

講義テーマ	主なコンテンツ
はじめに	
【1】「3つの落とし穴」にはまっていませんか？ ①廃止/方向転換すべき業務を「改善」する ②お役立ち相手を念頭に置かずに「改善」する ③必要な知識を職員が習得せぬまま「改善」する	☞「日本経営品質賞アセスメント基準」を参考に、やみくもに「改善」を行うと陥りがちな「3つの落とし穴」について知る。(改善を徒労に終わらせないために)
【2】目的に応じて「8つのフレームワーク」を活用しよう ●目標を設定し、結果を振り返る ①PDCAチェックシート ②KPIツリー(ケイピーアイ) ③AARR(アー) ④SMART(スマート) ●業務の状態を可視化する ⑤業務フロー図 ●改善策を考える ⑥ムリ・ムダ・ムラ～ダラリの法則 ⑦ECRS(イクルス) ⑧業務改善提案シート	☞業務改善を効果的に進めるための「8つのフレームワーク」の概要と活用方法を学ぶ。 ①PDCA(目標に対する結果を振り返り、次に活かす) ②KPI(指標を分解して計測する) ③AARR(収益/集客までの各段階で指標を設定) ④SMART(目標設定の質を高める) ⑤業務フロー図(業務の流れやつながりを可視化) ⑥ダラリの法則(効率の悪い業務を見つけ出す) ⑦ECRS(除去・統合・取替・簡素化) ⑧業務改善提案シート(現場のリアルな声を集める) ☞さらに、講師の実際の活用経験を踏まえて、うまく使うための具体的なコツを学ぶ。
【3】最新テクノロジー活用事例(AIやRPA等による改善) ・行政や民間での事例と効果 ・今後の活用想定分野	☞技術面の把握にとどまらず、政府の基本的立場や関連の法律・戦略等も俯瞰的に知る。 ☞今後想定される最新技術の活用分野や、AI時代に求められる人材像についても理解する。
まとめ	

■本研修を受講した研修生の感想

- ☞フレームワークを知らずに、闇雲に改善に取り組んでもうまくいかない理由を、論理的・実践的に学ぶことができました。
- ☞講師自身の活用体験談が良かったです。具体的にイメージすることができました。
- ☞AI等での改善が社会でこれほど進んでいるとは..最新情報に触れることは大事ですね。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

- ☞神戸市役所在籍時代の行政経験(行革・業務改善の全庁推進事務局等)に加え、日本経営品質賞に関する活動を通じて、多数民間組織との交流・経営支援から得た「現場発の知見」が豊富に紹介され、改善のコツをわかりやすく、楽しく学べます。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>